教育出版

おもしろ実験・工作

川原の石が丸くなる様子

【 5年 流れる水のはたらき 】

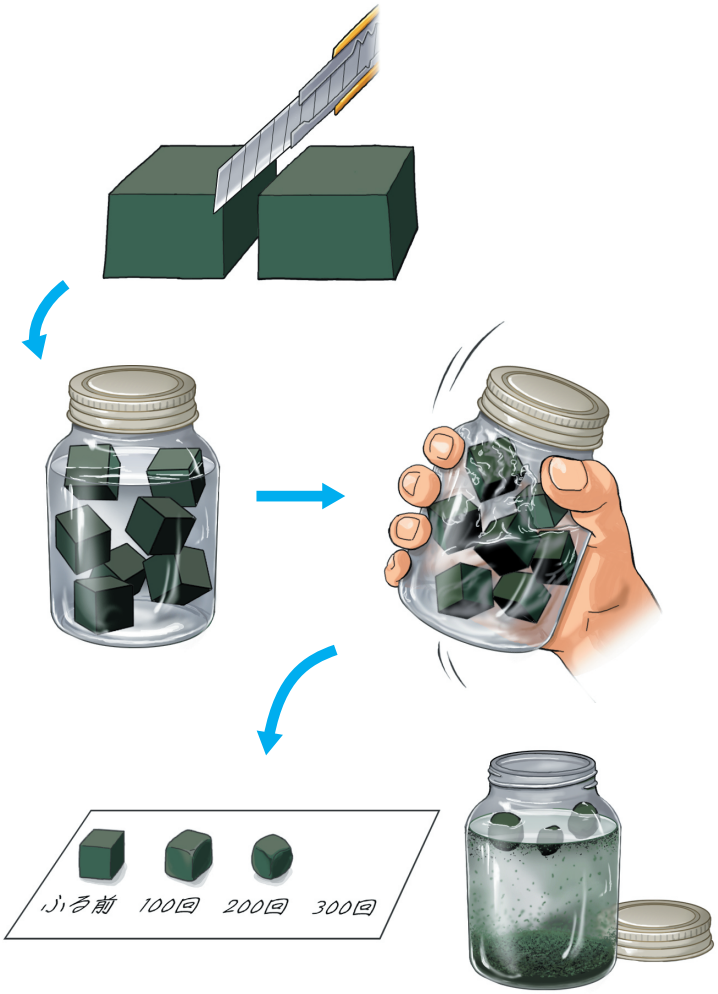
川原の石の形

川原で見られる石は川の上流と下流でことなっています。川の上流では，大きくて角ばった石が多く見られ，川の下流では小さくて丸い石が多く見られます。上流の石が流れる水のはたらきによって，川の下流へと運ばれる間にぶつかって角が取れたり，われたりして小さく，丸くなっていきます。石がぶつかったり，われたりしたときに出る小さな破へんは，すなやどろとして下流の川底などにたい積します。

準備 ふたつきの容器（ジャムのびんなど），画用紙，園芸用きゅう水スポンジ，カッター，わりばし

作り方

1. 園芸用スポンジを 2cm 角くらいの大きさにカッターナイフで切る。
2. ①で切った園芸用スポンジ６，７個を，水を入れたふたつきの容器の中に入れ，スポンジがしずむまで置いておく。
3. スポンジが全てしずんだら，わりばしで１つを取り出し，ふたをして 100 回容器をふる。
4. 100 回ふり終わったら，中のスポンジを１つ取り出す。くり返し 100 回ふるごとに中のスポンジをわりばしで取り出し，合計 300 回ふるまで続ける。
5. ③で取り出した，ふる前の最初のスポンジと，100 回，200 回，300 回ふったあとのスポンジの形を比べる。



●**スポンジを石に見立てると，ふり終わったあとに容器の底にしずんでいるものは，川で見られる何にあたるかな。**